

令和2年度 学校図書館基本計画(案)

足立区立第九中学校 校長 佐藤 豊

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に捉え、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度－

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 様々な文章を読み、自分の表現力を高め、発信できる生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し情報収集したり、調べたりすることをとおして、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読解力を身につけさせる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14,774 冊 (蔵書基準冊数 12,640 冊) / 蔵書率 116.9% ② 新規購入図書 699 冊 / 廃棄図書 180 冊 / 増減冊数 519 冊									
	分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類
蔵書構成割合	2 %	2 %	8 %	9 %	8 %	4 %	2 %	1 3 %	6 %	4 6 %
*国基準	6 %	3 %	1 7 %	1 0 %	1 5 %	6 %	5 %	8 %	5 %	2 5 %
利活用の状況	① 開館時間： 昼休み 13 時 00 分～13 時 20 分、放課後から 17 時 20 分まで ② 生徒一人あたりの年間貸出冊数 6.27 冊 (前々年度:5.42 冊) ③ 学校図書館利用率 1361% (前々年度 : 1003%)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 自身の興味関心を基に本を選び、読書に親しむ態度を養う。 ② 本から必要な情報を取り出し、まとめる能力を育成する。 ③ 本の魅力を伝える力を育成する。	
	今年度の成果目標	
① 学校図書館の本の中から好きな本を選び、読書をすることができる。 ② 学校図書館の本を活用し、国語や総合的な学習の時間に新聞等を作成することができる。 ③ 学校図書館の中から好きな本を選び、その魅力を表現し、伝え合うことができる。		達成基準
		①◎昼休みに図書室を利用する生徒の割合 10% 増 ② 生徒の作品の中で図書を出典とした記事の割合 50% ③ 好きな本のあらすじや魅力を言語で伝えることができる。本の魅力を聞き、自身の読書活動を拡げている

第2学年	① 様々な分野の読みものに触れる。 ② 情報収集の手段として図書室を利用する。	
	今年度の成果目標	
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT 機器を使い分け、探究活動を進めることができる。		達成基準
		① 読書活動の授業を年 8 回程度実施するクラスの割合 100% ②◎学年生徒の調べる学習コンクールに向けたレポート作成率 70% 以上

第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 本や新聞記事をとおして自分の考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書や ICT 機器を活用した探究活動を通して、言葉の力の向上及び発信力・表現力を育成する。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 休み時間や放課後の時間等を中心に、主体的に学校図書館を活用し、読書をすることができる。 ② 課題に応じて、本や新聞および ICT 機器を使い分け、探究活動を進め、ディスカッションすることができる。その際、参考文献等を引用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクールの参加率80%以上 ③ 新聞記事に対して意見文を書く授業を年10回以上実施するクラス割合100%

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 新規購入図書に向けて、教員及び生徒を対象とした希望図書アンケート前期及び後期に2回とり、蔵書の充実を図る。
- ② 蔵書構成割合が偏っているため、国の基準より低いものは計画的に購入する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施や新書の紹介コーナー及びPOP作成など支援員の積極的や連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習や各教科の授業で必要な教材や資料などについて学校図書館支援員に相談し、選書及び必要に応じて購入検討など情報交換を密に行う。
- ③ オリンピック・パラリンピックやキャリア教育等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。
- ④ 図書委員会による図書便りの発行及び掲示をするとともに、季節に応じた掲示物や新書のPOP作成等の工夫することで生徒の読書活動の向上の一助をする。

【その他】

- ① 年度末の貸し出し返却率が100%となるように取り組む。

※ 本計画の数値目標は、令和元年度末（臨時休校措置実施前）に設定した数値を掲載しています。